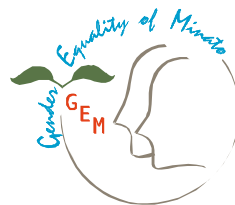


# GEM通信



だれもが  
個性や能力を生かして  
自分らしく暮らせる  
地域社会を創るために・・・

2017年12月発行

No. 25

NPO 法人 男女平等参画推進みなと / Gender Equality of Minato (GEM) HP : <http://gem-net.link>

## 報告

## 2017 全国シェルター・シンポジウム in 東京開催 基調講演

9月30、10月1日に、NPO 法人全国女性シェルターネットによる全国規模のシンポジウムが、文京シビックホールで開かれた。シェルター・シンポは、1998 年から毎年各地で開催、20 回目の今年は「ノーマ暴力～DV・虐待・性被害・差別・貧困の根絶～」がテーマ。2 日間で延べ 2,300 人が集まった。

初日の 30 日は、米国から来日したオルガ・トゥルヒーヨさん（弁護士、コンサルタント）が講演。虐待、暴力、想像を超える経験からサバイブしたオルガさんの揺るぎないパワーと穏やかな笑顔に圧倒された 3 時間だった。

オルガさんは 31 歳のとき解離性同一性障害と診断された。彼女が語った幼少時からの経験は想像を超えるものだ。父親からの何年にもわたる性虐待。それが起きたのは母への DV を目撃したオルガさんが父を止めようとした時だ。母の目の前で 3 歳の女の子はレイプされた。父は、母や兄たちにも暴力を振るっていた。

解離は逃げ道のない圧倒的なトラウマ的状况を経験した人によく起こると言われている。性的虐待や暴力から自分を守るためにオルガさんは解離し、分断された複数の「わたし」が存在していた。

講演では、父親から、兄弟から、それ以外の人たちから受けてきた性的虐待。その暴力が彼女にどのような影響を与えたのか、暴力を生き抜いてきた人生を、幼少期から少女時代の写真を映しながら、語った。

オルガさんは、過去の記憶がほとんどなく、幸せな子ども時代を送っていたと思っていた。ロースクールを卒業後、司法プログラムの統括弁護士として成功し、キャリアを得ていたが、感情のコントロール、共感を持つこと、他者とつながりを持つことなどが低下するというトラウマの影響を受けていた。

ある日、女性がレイプされる映画のシーンを観たことをきっかけにパニック発作を起こし、カウンセラーから精神科医につながった。この医師とともに、オルガさんは責任あるポストで働き続けながら苛酷な治療を受ける。その治療では、私の中の「わたしたち」が次々に現れ、かつての記憶に苛まれた。

オルガさんの話から、彼女を見守る周囲の大人たちの存在……隣人のグラシエラさんや地域や学校の先生たちの

「親切や励まし」が、オルガさんを生き延びさせたのだということが伝わってきた。そして、積極的に他者とつながれる能力がレジリエンス（回復力）を促したのだということも。グラシエラさんは、オルガさんにロザリオを渡して、怖くなった家の中に隠れ場所を探して隠れるように教えた。

回復は可能であり、苛酷な経験をしても幸せな人生を送れることを、オルガさんが身をもって示してくれている。現在のオルガさんは、コンサルタントとして独立し、性的虐待、子ども虐待、DV についての講演を世界各地で行っている。私生活では農場に住み、有機農法で野菜をつくり果実を栽培し、パートナーと犬、猫と穏やかに暮らしている。(m)



著作:『The Sun of My Parts: A Survivor's Story of Dissociative Identity Disorder』

『私の中のわたしたち——解離性同一性障害を生きのびて』伊藤淑子訳 国書刊行会



## 分科会でシェルター・シンポジウムに参加

私たちGEMはサポートグループ研究会と共催し、分科会「サポートグループをやってみよう ～夫や交際相手から暴力を受けた女性の回復をめざして～」を行った。

サポートグループは、グループ参加者間の相互援助や交流、自身が持つ対処能力の向上を目的としている。参加者はグループの持つ力によって、語り合いの中で気づきや共感を得て孤立感が軽減され、自身の持つ力を取り戻していく。そのグループに介入していくのがグループの進行役・促進者であるファシリテーターだ。

分科会では、サポートグループとは一体どんなことをするのか、ファシリテーターの役割は何かということ言葉を説明するより、まず実感、体感してもらうことを主眼に、ワークショップ形式で行った。

最初に「サポートグループとは」について説明。ファシリテーターは、グループ参加者が経験を意識化したり深めたりする手助けをする。参加者は、困難を抱えているのは自分だけではない、他の参加者の発言で自分が言いたかったことが分かる、自分の経験が他の参加者の役に立っている、自分の別の面を知ることができるなどの経験を通して、暴力は自分が悪いのではなく社会構造的原因があることに気づき、自己肯定感がアップするなど成長が促される。

続いて、サポートグループ研究会のメンバーが、参加者やファシリテーター役となり、模擬グループの一場面を実施した。さらに、公的、民間、医療の場ですでに実施されているサポートグループを紹介した。最後に「サポートグループをやってみよう」ということで、分科会参加者に体験してもらうことができた。

90分という時間の中で、急ぎ足ではあったが、参加者から「グループ支援を体験できて良かった」「グループのことが少し分かった」などの声をいただくことができた。(m)

## ほっとすぺーす olive 便り

<8月26日、27日>縄文の国・親子キャンプ

雨が多かった今年の夏休みでしたが、最後の土日は晴天に恵まれ、高原の爽やかさを満喫することができました。木漏れ日の中、急な



斜面もスイスイと駆け上がる子どもたち。温泉で汗を流し、晩御飯でお腹を満たした後は、星空を観察したり花火に興じたり、都会には無い「真っ暗闇」を手をつなぎ歩く経験も。麦わらを使ったモバイルや竹の水てっぽうも上手に作る事ができました。

<10月7日>ルバーブジャム作り、

<12月2日>クリスマス・リース作り

～ ～ ～ ～ ～

今年も様々な場面で、お互いの心を通わせ見守り合う皆さんの姿に、スタッフもパワーをたくさんいただきました。来年もどうぞよろしく！

第21回まちづくり区民円卓会議

## 平和のために 歌い継がれたもの

～音楽と映像を通して憲法を考える～

講師：志田 陽子さん(武蔵野美術大学教授)



日時：2018年2月4日(日) 14～16時

会場：港区男女平等参画センター・リーブラ

港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦 2F 多目的室

参加費：500円(学生半額 18歳以下無料)

定員30名(申し込み先着順)・保育あり

「アメイジンググレイス」「ダニーボーイ」など、多くの人に親しまれる歌について、そこに込められた憲法の歴史を、ピアノ伴奏による歌唱とともにわかりやすく解説していただきます。

申込み：gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

## 会員になって 一緒に活動 しませんか？

イベントや講座の企画、仲間づくり、学習会等への参加、男女平等推進のための各種調査・研究 etc

入会金：3000円 年会費：3000円

※申し込み：T/F：3472-5787

Eメール：gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

## ■ボランティアスタッフ募集中！

安心の地域づくりに皆さんの力を貸してください

## ■活動へのご寄附もお待ちしています！

郵便振替口座：10060-90261721

口座名：特定非営利活動法人男女平等参画推進みなと